

予防接種を受けるに当たっての保護者の心得

監修

鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山 院長/家庭医診療科 部長

日本プライマリ・ケア連合学会 理事(ワクチンプロジェクトチーム担当理事) 岡田唯男先生

あらかじめ、準備をしておきましょう

- あわてないためにも時間にゆとりをもって受診しましょう。
(あわてっていると赤ちゃんも感じ取りますので、ゆったりと落ち着く時間が必要です)
- 年長児に対しては、「予防接種は病気にならないようにするために大切なこと」とおだやかに話しておきましょう*1。
(「注射はしない」や「診察だけ」などの嘘は良くないとされています)

予防接種当日の適した服装

- ボタンが多い洋服は好ましくありません。脱ぎ着しやすい洋服にしましょう。(接種するまでに時間を要します)
- 接種する部位を露出させる必要があるので、きつい洋服は避けましょう。

接種前

- 落ち着いて受けられるように、片手で持てるくらいのお気に入りのおもちゃや好きなタオルなどを持たせてもよいでしょう。
- 接種の際におもちゃなどを使用して気をそらすことは痛みの軽減に効果があるとされています*1。他の人の邪魔にならなければ、本、漫画、スマホやタブレット、音楽プレイヤー、ゲーム機などの持参は可能です。
- 授乳をしながらの接種や接種直前の砂糖水が痛みを和らげるとされています*1。接種前にご相談ください。
- だっこしてあげたり、一緒に深呼吸をしたりして落ち着かせてあげましょう*1。
- 4歳以上なら、接種前に接種部位の近くをさすってあげるとよいでしょう*1。

*1 Taddio A. et al.: CMAJ. 182(18), E843-E855, 2010

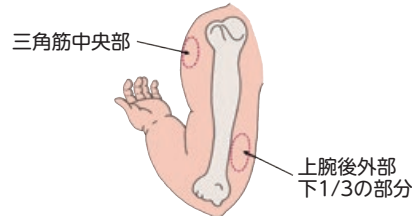
接種部位*2

- 太ももの外側または、上腕の肩に近い部分や上腕のひじに近い部分に接種します。

【大腿接種部】



【上腕接種部】



*2 日本小児科学会「日本小児科学会の予防接種の同時接種に対する考え方」

[https://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=47, 2018年12月12日確認]を参照し、図を一部抜粋

接種時のお子様の抱きかかえ方*3



【大腿に接種する場合】

- ① 自分の膝の上にお子様を乗せます。
(接種する部位を医師に見せるように横に乗せましょう)
- ② 自分の腕をお子様の上半身に回して軽く固定します。その際にお子様の腕が飛び出ないように覆うようにして固定します。
- ③ お子様の両足は自分の太ももの間に挟むようにして固定します。
- ④ もう片方の手はお子様の足が飛び出ないように軽く固定します。



【上腕に接種する場合】

- ① 前向きに抱っこして両腕でお子様の体を軽く固定します。
(その際にお子様の腕が動かない程度に固定します)
- ② お子様の両足は自分の太ももの間に挟むようにして固定します。

※年長児でも接種中に動いてしまうと危険を伴いますので、スタッフにより、固定を介助させていただく場合がございます。

*3 Centers for Disease Control and Prevention: How to Hold Your Child During Vaccinations

[<https://www.cdc.gov/vaccines/parents/tools/holds-factsheet.html>, 2018年12月12日確認]より作成